

# こんにちは もうり 栄子です



コロナに始まりコロナに終わった一年でした。住民の命と健康を守ることを第一に各地の病院長さんとも懇談させていただき、「命を守るために体を張っている」姿に心打たれました。PCR検査の拡大や医療崩壊を防ぐための医療機関の減収補填を国や県に求めてきました。第三波の感染拡大が止まりません。生活も営業も日々ひっ迫しています。皆さんの声を今年もしっかり受け止め、コロナ後の社会が格差のない人に優しい社会になるよう頑張っています。

## 国産ジェット機開発凍結の影響などを調査

飯田市の「エス・バード」内にある県の航空機産業支援サテライトでは航空機産業への参入を考えている企業に加工トライアルなどの支援を実施。コロナの影響

で飛行機の利用率の低下や三菱航空機の開発凍結などもあり、影響がないとはいえないが、事業所ごとみれば航空機関連の生産は1～3割であり、影響は最小限に抑えているとのこと。また、信州大学や諏訪東京理科大、JAXAと共同し、山岳地域などへの物資輸送のための無人機開発の可能性を探っているとのこと。パイロットや機体不足で山小屋への荷揚げが高騰し困っている皆さんに希望がもてる話もうかがいました。



エス・バードにて

## 過密化・老朽化の特別支援学校の環境改善を

県内の養護学校は設立当初より児童生徒数が倍近くに膨らみ、教室不足が目立ちプレイルームを教室にしたり、プレハブの教室をつくったり、職員室を教室にしたりと老朽化とも相まって劣悪な環境下に置かれています。現在「特別支援教育学校整備基本方針」を策定中ですが、素案策定の過程に保護者や現場の教職員の意見をしっかり反映するよう求めました。

課長は連携協議会の構成員に入っているが、丁寧に意見を聞いて策定していくと答弁。緊急に対応が求められている小諸養護学校の建て替えも求めました。

## 過労死水準超える先生方の働き方の改善を

長野県教職員組合が公表した勤務実態調査結果によると小学校・中学校・障害児学校の1か月の超勤時間は平均で79時間8分と、厚労省が定める過労死危険ラインの80時間に迫る過酷な状況です。

1年単位の変形労働時間制の導入ができるようになったが、夏休みに休暇のま

とめ取りなどできる状況にはなく問題視されています。導入のための条例を作るのかとの問いに、教育長は現場からの要求がまだないので慎重に検討すると答弁。多忙化の解消には教員をもっと増やし少人数学級をさらに進める以外にありません。

## ごみ処理の広域化・集約化は適正なものに

ごみ処理体制を適切に維持していくためにと県は広域化・集約化を推進していますが、人口減少や経済活動を考慮しないとせっかく分別し再利用しようとしたものまで大型化して24時間運転するために燃やすことになる。広域化・大型化の推進はいかがなものかと問うと、課長は災害ごみの処理なども考慮すれば一定の大きさは必要だが、適正なものにするよう対応していると答弁しました。



環境委員会にて質問



知事出席しての議会新型コロナウイルス感染症対策連絡本体会議



## 日本共産党県議会報告

No. 7 2021年1月 【2020年11月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室  
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322  
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

